

水道管の凍結を防ぐには

こんなときに水道管は凍結します！

- ・ 最低気温が-4℃以下になるとき
- ・ 気温が一日中氷点下になるとき

水道管が凍結すると・・・

管の中の水が凍って、体積が膨張して水道管の破損や破裂することがあります。



凍結しそうなときは、
「水抜き栓」の操作をお願いします！

「水抜き栓」とは、凍結しないように水道管の水を抜くための装置です。
凍結が予想されるときは、あらかじめ水抜き栓を操作して、水道管の凍結を予防しましょう。

<一般的な水抜き栓の使い方>

■手動式の場合

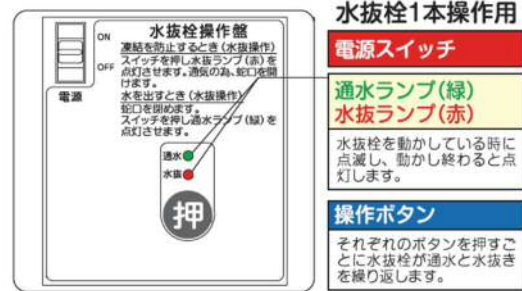
凍結を防止するとき(水抜き操作)

- ① 水抜きハンドルを、“水抜”方向(右回り)に止まるまで回します。
- ② 室内のすべての蛇口を開けてください。立ち上がり管内に空気が入り、蛇口を開けても水が出ない状態になります。
- ③ 水抜きが終わったら、蛇口を閉めてください。

水をを使うとき(通水操作)

- ① 室内のすべての蛇口が閉まっているか、確認してください。
- ② 水抜きハンドルを“通水”方向(左回り)に止まるまで回します。通水状態になります。
- ③ 蛇口を開けて、水をお使いください。

■電動式の場合



※文字、デザイン、色などは、製品によって異なる場合があります。

- ・ **水抜きをする時期 冬期間(12月～翌年3月頃)**
～凍結の心配がある時には以下の手順で操作してください。～
 - ① **電源スイッチ**をONにしてください。
 - ② 通水ランプ(緑)が点灯しているときは、水を出しながら操作ボタンを押して、**水抜きランプ(赤)の点灯**を確認してください。(空気の導入の為、蛇口は開けたままにしておきます。水は止まります。)
 - ③ 水を出したい時は、全ての蛇口を開けた後操作スイッチを押して、通水ランプ(緑)の点灯を確認してください。
- ・ **水抜きをしない時期 春・夏・秋期間(4月～11月頃)**
水道の凍結の心配はありませんので、通水ランプ(緑)の点灯を確認の上、**電源スイッチをOFF**にしてください。(電源をOFFにしても水が止まる心配はありません。)

※水抜き栓が設置されている場所をご家庭によって異なりますので、凍結が予想される前に場所を必ず確認してください。

■もしも水道管が凍結してしまったら？

蛇口を開けた状態にしてタオル等でおおい、その上からゆっくりぬるま湯を繰り返しかけて解水してください。**熱湯をかけると破損する危険がありますので、絶対にかけないでください。**

■解水できない、または水道管が破損、漏水してしまったら？

解水できない場合、また水道管が破損、漏水した場合は多賀城市指定給水工事事業者(8～10ページ)に修繕を依頼してください。修繕にかかる費用はおお客様の負担となります。